

**西地区熱回収施設整備・運営事業
審査講評**

平成 31 年 2 月

**西地区熱回収施設整備・運営に係る事業者選定委員会
大崎地域広域行政事務組合**

《目 次》

第 1 事業概要	1
1 事業名	1
2 本事業の対象となる公共施設等の名称及び種類	1
3 公共施設等の管理者	1
4 事業目的	1
5 本事業対象施設の概要	2
6 事業期間	2
7 事業の対象となる業務範囲	3
第 2 事業者選定委員会	4
第 3 審査方法	4
第 4 事業者選定委員会の開催経過	5
第 5 審査結果の概要	6
1 応募者	6
2 入札参加資格審査	7
3 基礎審査	7
4 非価格要素審査	8
5 価格審査	14
6 総合評価点の算出及び優秀提案者の選定	14
第 6 総評	15

第1 事業概要

1 事業名

西地区熱回収施設整備・運営事業

2 本事業の対象となる公共施設等の名称及び種類

名 称 西地区熱回収施設

種 類 一般廃棄物中間処理施設

3 公共施設等の管理者

大崎地域広域行政事務組合 管理者 大崎市長 伊藤 康志

4 事業目的

構成市町におけるごみ総排出量（集団回収量を含む）は、約 71 千 t / 年で概ね横ばいで推移している。このような背景に加え、国・県の上位計画の変更も受けて、組合は平成 29 年 2 月に「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定している。その中で、組合におけるごみ処理施設は 2 施設とし、東部クリーンセンターは平成 21 年度の西部加美クリーンセンター休止前程度の処分分担率で運転し、余剰分は西地区熱回収施設にて処理（供用開始は平成 34 年 4 月を目処）し、西地区熱回収施設の施設規模は 140 t / 24h とすることを決定している。

組合は、宮城県大崎市古川桜ノ目字新高谷地地内に新たに整備する西地区熱回収施設と新リサイクルセンターについて、以下の基本方針に基づき、施設整備を進めることにしている。そのため、近年の処理技術の向上を最大限に取り入れ、周辺地域との調和・共生を重視し、可能な限りの地域還元を図るとともに、周辺住民が安心できる施設整備を目指すこととする。また、施設管理要員、施設運転要員にとって、安全かつ衛生的で働きやすい労働環境を確保できるものとする。

【施設整備にあたっての基本方針】

(1) 周辺環境に配慮した施設

熱回収施設については、既存施設の規模拡大であるが、現在の施設よりも周辺環境への負荷を軽減する。

(2) 安全性、安定性に優れた施設

整備する施設は、大崎広域圏の生活環境を守る廃棄物処理の中心施設となるので、日々排出されるごみを保管、適正処理し、災害時にも速やかに復旧できる安定した施設とする。また、排出ガスや焼却灰に含まれるダイオキシン類等の有害物質の処理が確実、安定的に出来る安全な施設とする。

江合川に隣接しているので、水害を考慮した施設とする。

地震等の自然災害に強く、災害時の安全な停止・復旧のできる施設とする。

(3) 住民に信頼される施設

①住民の環境問題、廃棄物問題の学習拠点となる啓発施設。

②災害時に避難場所として活用可能な施設。

③住民の代表との定期的な意見交換の場として協議会を設け、住民の不安、不満を把握し、その解決を図る。

④施設運営等に関しては、自主規制値を設け、地域協定を締結する。

(4) 資源循環に優れた施設

リサイクル施設は回収資源の純度、回収率向上を図り、資源化率の向上と最終処分量の削減を図る。

熱回収施設で発生する熱エネルギーを最大限有効に活用するため、効率的な発電等設備を設ける。

(5) 経済性に優れた施設

施設の建設、維持管理にかかる経費は基本的に住民の税金であり、住民の負担の少ない経済性に優れた設備、運営方式を導入する。

※下線部の表記については、新リサイクルセンターに必要機能を確保している。

5 本事業対象施設の概要

名 称	西地区熱回収施設
建 設 場 所	宮城県大崎市古川桜ノ目字新高谷地内
事業実施区域面積	約 13,600m ²
本 施 設	1) 処 理 方 式：全連続運転式燃焼式ストーカ炉 2) 施設規模：140t/日 (70t/日×2 炉 1日当たり 24 時間) 3) 処理対象物：①可燃ごみ，②可燃粗大ごみ， ③粗大・不燃ごみからの可燃残さ，④し尿脱水汚泥 4) 発 電 設 備：設置 5) エネルギー回収率：16.5%以上 (場内ロードヒーティングを含む)
そ の 他 関 連 施 設 等	管理諸室，計量棟，洗車棟，駐車場，構内道路，燃料貯蔵所，構内案内板， 外灯，植栽，仮設施設 等

6 事業期間

事業期間は次のとおりである。

(1) 設計・建設期間

ア 工場棟本体工事

大崎地域広域行政事務組合議会で議決された日の翌日から平成 34 年 3 月 31 日(木)

イ 解体工事・ごみ計量棟等工事

大崎地域広域行政事務組合議会で議決された日の翌日から平成 36 年 3 月 29 日(金)

(2) 運営期間

平成 34 年 4 月 1 日 (金) から平成 54 年 3 月 31 日 (月) (20 年間)

7 事業の対象となる業務範囲

本事業において事業者及び組合が行う業務の範囲は次のとおりである。

(1) 事業者が行う業務

ア 本施設の設計に関する業務

- ① 本施設の設計
- ② 組合が提示する調査結果以外に必要な事前調査
- ③ 組合の交付金申請支援
- ④ 設計に係る許認可申請等
- ⑤ その他これらを実施する上で必要な業務

イ 本施設の建設に関する業務

- ① 本施設の建設（建設工事中は隣接の大崎広域中央クリーンセンターの稼働を前提とする）
- ② 大崎広域中央クリーンセンターの解体工事
- ③ 近隣対応（事業者が実施する業務に関連するもの）
- ④ 建設工事に係る許認可申請等
- ⑤ その他これらを実施する上で必要な業務

ウ 本施設の運営に関する業務

- ① 運転管理業務
- ② 維持管理業務
- ③ 測定管理業務
- ④ 防災管理業務
- ⑤ 関連業務
- ⑥ 情報管理業務
- ⑦ 近隣対応（事業者が実施する業務に関連するもの）
- ⑧ その他これらを実施する上で必要な業務

(2) 組合が行う業務

ア 本施設の設計・建設工事に関する業務

- ① 事業実施区域内にある既存リサイクルセンターの解体・撤去
- ② 近隣対応（事業者が実施する業務以外）
- ③ 本施設の交付金申請手続
- ④ 本施設の設計・建設工事モニタリング
- ⑤ その他これらを実施する上で必要な業務

イ 本施設の運営に関する業務

- ① 本施設への処理対象物の搬入
- ② 焼却主灰の搬出及び資源化
- ③ 飛灰処理物及び処理不適物の搬出及び処分
- ④ 近隣対応（事業者が実施する業務以外）
- ⑤ 行政視察対応（運営事業者による部分的な支援を含む）
- ⑥ 運営業務モニタリング
- ⑦ その他これらを実施する上で必要な業務

第2 事業者選定委員会

組合は、応募者の事業提案の審査を公平に専門的知見に基づいて実施するため、組合が設置した西地区熱回収施設整備・運営に係る事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）において審査を実施した。事業者選定委員会を構成する委員は、表 1 に示すとおり 7 名である。

表 1 西地区熱回収施設整備・運営に係る事業者選定委員会の委員構成

委員名		所属・役職
学識経験者	濱田 雅巳	公益社団法人全国都市清掃会議 技術部長
	西村 修	東北大学大学院工学研究科 教授
	山田 一裕	東北工業大学工学部 教授
	佐々木 源	公益財団法人宮城県環境事業公社 常務理事
構成市町	高橋 英文	大崎市副市長
	山吹 昭典	色麻町副町長
	佐々木 忠弘	涌谷町副町長

第3 審査方法

審査方法の詳細については、落札者決定基準に示すとおりである。本事業では入札参加資格審査を実施した後、基礎審査として次の 2 項目を確認した。

- ・提出書類の整合確認（必要な書類がそろっていること、かつ書類間の整合が図られていることを確認）
- ・事業提案書の要求水準確認（事業提案内容が要求水準を満たしていることを確認）

その後、非価格要素審査に関する事業提案内容を評価し得点化する非価格要素審査及び入札価格を得点化する価格審査を実施し、非価格要素審査と価格審査の得点を合計して総合評価点を算出し、総合評価点の最も高い優秀提案者を選定した。

なお、審査にあたっては、応募者番号のみが記載された審査資料に基づき審査し、応募者の匿名性を確保した。

第4 事業者選定委員会の開催経過

事業者選定委員会の開催及び優秀提案者の選定までの経緯は、表 2 に示すとおりである。

表 2 事業者選定委員会の開催及び優秀提案者選定までの経緯

内 容	日 程
①第 1 回事業者選定委員会 (事業全体スケジュール, 事業の概要, 実施方針)	平成 30 年 5 月 11 日 (金)
②第 2 回事業者選定委員会 (実施方針, 要求水準書 (案), 落札者決定基準)	平成 30 年 5 月 31 日 (木)
③実施方針及び要求水準書 (案) の公表	平成 30 年 6 月 4 日 (月)
④第 3 回事業者選定委員会 (落札者決定基準, 入札説明書)	平成 30 年 7 月 4 日 (水)
⑤入札公告及び入札説明書等の公表・交付	平成 30 年 7 月 17 日 (火)
⑥入札参加資格審査に関する提出書類受付期限	平成 30 年 8 月 22 日 (水)
⑦入札参加資格審査結果の通知・応募者番号の交付	平成 20 年 8 月 31 日 (金)
⑧対面的対話用資料受付期限	平成 30 年 9 月 7 日 (金)
⑨第 4 回事業者選定委員会 (対面的対話説明会)	平成 30 年 9 月 20 日 (木)
⑩入札書及び事業提案書の受付期限	平成 29 年 11 月 7 日 (水)
⑪第 5 回事業者選定委員会 (審査の具体的な内容確認, 事業提案書の概要確認)	平成 30 年 11 月 29 日 (木)
⑫第 6 回事業者選定委員会 (応募者ヒアリング, 非価格要素審査, 価格審査, 総合評価, 審査講評)	平成 30 年 12 月 27 日 (木)

第5 審査結果の概要

1 応募者

対象となる応募者は表 3 に示すとおり、4 グループであった。

表 3 応募者一覧

ささむすびグループ	
代表企業	JFE エンジニアリング株式会社 東北支店
協力企業	西松建設株式会社 東北支店 株式会社村田工務所
ひとめぼれグループ	
代表企業	株式会社神鋼環境ソリューション
協力企業	三井住友建設株式会社 東北支店 株式会社藤山工務店
ささにしきグループ	
代表企業	日立造船株式会社 東北支社
協力企業	大豊建設株式会社 東北支店 丸か建設株式会社
まなむすめグループ	
代表企業	三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社 東北支店
協力企業	佐藤工業株式会社 東北支店 株式会社古川土地

2 入札参加資格審査

入札説明書で示した入札参加資格を応募者が満たしていることを表 4 に示すとおり確認した。なお、入札参加資格審査は組合事務局において実施した。

表 4 入札参加資格審査結果

項目	応募者			
	ささむすびグループ	ひとめぼれグループ	ささにしきグループ	まなむすめグループ
(1) 応募者の構成	合格	合格	合格	合格
(2) 応募者の参加資格要件	—	—	—	—
ア 共通の入札参加資格要件	合格	合格	合格	合格
イ 各業務を行う者の要件	—	—	—	—
①本施設のプラントの設計・建設工事を行う者の要件	合格	合格	合格	合格
②本施設の建築物等の設計・建設工事を行う者の要件	合格	合格	合格	合格
③本施設の建築物等の建設工事を行う者の要件	合格	合格	合格	合格
④本施設の運営業務を行う者の要件	合格	合格	合格	合格

3 基礎審査

応募者から提出された事業提案書に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを審査した。その結果、表 5 に示すとおり当該要件を満たしていることを確認した。

表 5 基礎審査結果

項目	応募者			
	ささむすびグループ	ひとめぼれグループ	ささにしきグループ	まなむすめグループ
提出書類の整合確認 ・必要な書類が揃っているか。 ・書類間の整合が図られているか。	合格	合格	合格	合格
事業提案書の要求水準確認 ・事業提案内容が要求水準を満たしているか。	合格	合格	合格	合格

4 非価格要素審査

(1) 審査結果一覧

非価格要素審査では、要求水準を満たすことはもとより応募者が提案する内容が一般廃棄物処理業務の一環として適切かつ柔軟な対応が図られているかといった観点から、要求水準を達成するための具体的方法及び要求水準を越える具体的提案内容を審査し得点化した。

具体的には、応募者から提出された非価格要素審査に関する提出書類をもとに「落札者決定基準」に示した 25 の各審査項目について、表 6 に示す採点基準に従い各委員が A～E の 5 段階評価を行い、その平均をとって提案内容を得点化した（配点 60 点）。

表 6 審査項目の採点基準及び得点化方法

評価	採点基準	得点化方法
A	特に優れている	(配点×1.00)
B	AからCの間	(配点×0.75)
C	優れている	(配点×0.50)
D	CからEの間	(配点×0.25)
E	要求水準を満たす程度	(配点×0.00)

非価格要素審査結果は表 7 に示すとおりである。

表 7 非価格要素審査結果一覧

項 目	配点	ささむすび グループ	ひとめぼれ グループ	ささにしき グループ	まなむすめ グループ	
1. 事業全体に関する事項						
(1) 全体計画						
ア 事業実施体制	① 事業実施体制	5	3.21	2.68	3.04	2.86
イ 経済性	① 財政負担軽減に向けた工夫	3	1.82	2.04	1.82	2.36
ウ 地球温暖化防止	① CO ₂ 排出量削減に向けた取り組み	5	3.39	2.68	3.93	3.39
(2) リスク管理						
ア 想定されるリスクと対応策	① 的確なリスク把握とその対応	3	1.93	1.71	1.93	1.93
(3) 地域貢献						
ア 地元企業への発注	① 地元企業への発注	5	3.93	2.68	2.68	4.46
イ 運営業務時における地元採用等	① 地元採用	5	3.21	3.93	3.21	2.68
ウ 地域への貢献	① 地域への貢献	3	2.04	1.82	1.93	1.82
(4) 見学・学習機能						
ア 見学・学習機能計画	① 安全性・利便性に配慮した見学・学習機能の整備・運用	5	4.11	3.04	3.75	3.75
2. 設計・建設に関する事項						
(1) 設計・建設全般に関する事項						
ア 工事施工中の対応	① 工程管理	5	3.21	3.21	3.04	3.21
	② 安全対策・環境対策	5	3.39	2.86	3.04	3.04
(2) プラント設備に関する事項						
ア プラントの信頼性	① プラントシステムの信頼性	5	3.57	3.39	3.57	3.57
	② 非常時の安全性	3	1.93	1.71	2.04	2.04
イ 機器配置計画	① 機能的、メンテナンス性、安全性に配慮した工場棟の配置・動線計画	3	1.93	2.04	2.14	2.36
(3) 土木・建築に関する事項						
ア 全体配置計画	① 安全性、利便性に考慮した配置・動線計画	5	3.57	3.04	3.93	3.75
イ 建築各種計画	① 意匠・構造・仕上げ・外構・設備等各種計画	5	3.39	3.21	3.57	3.75
ウ 外観デザイン計画	① 周辺環境や地元住民へ配慮した外観デザイン	3	2.04	1.71	2.36	2.04
3. 運営に関する事項						
(1) 運営全般						
ア 運営期間終了後の計画	① 運営期間終了後の計画	3	2.46	1.61	2.36	1.71
(2) 運転管理						
ア 運転管理体制	① 運転管理体制	5	3.39	2.50	3.57	3.04
イ 受付・計量、搬入管理	① 受付方法	5	3.04	2.86	3.93	3.39
	② 搬入管理	4	2.71	2.14	2.71	3.29
ウ 運転計画	① 運転計画	3	2.04	1.93	2.04	2.25
エ 緊急時対応	① 緊急時の対応	3	1.82	1.82	1.93	1.82
(3) 維持管理						
ア 維持管理計画	① 維持管理計画	3	1.93	2.14	1.93	2.04
(4) 測定管理						
ア 公害防止の対応	① 測定項目・測定頻度、基準値超過時の対策	3	1.93	1.93	1.61	1.82
4. その他に関する事項						
(1) その他						
ア その他	① 自由提案	3	2.14	1.93	2.04	2.14
非価格要素審査項目点の合計値		100	68.13	60.61	68.10	68.51
非価格要素点 [(60点 × (非価格要素審査項目点の合計値 / 100))]		60	40.88	36.37	40.86	41.11

(2) 非価格要素審査の講評

非価格要素審査の講評は表 8 に示すとおりである。

表 8 非価格要素審査の講評 (1/4)

評価項目	応募者の提案内容に対する講評	
1. 事業全体に関する事項		
(1) 全体計画		
ア事業実施体制	①事業実施体制	<p>応募者を構成する各企業の役割分担（業務内容等）と責任分担について、優れた提案がなされていた。</p> <p>設計、建設、解体、運営の各段階における実施体制及びバックアップ体制について、優れた提案がなされていた。</p> <p>設計、建設、解体、運営の各段階で要求水準書等の内容を遵守しているかを、応募者自らが確認（セルフモニタリング）し、組合がチェックできる体制及び手法について、優れた提案がなされていた。</p>
イ経済性	①財政負担軽減に向けた工夫	<p>環境省の循環型社会形成推進交付金制度及び総務省の震災復興特別交付税を利用することを考慮した優れた提案がなされていた。</p> <p>特に、まなむすめグループの早期に多くの出来高を計上する提案を高く評価した。</p>
ウ地球温暖化防止	①CO ₂ 排出量削減に向けた取り組み	<p>焼却廃熱を利用した発電により、本施設内等の消費電力を賅ったうえで売電できる電力量について、優れた提案がなされていた。</p> <p>組合に帰属する売電収入の向上に向けた単価、売却先についての具体的な提案がなされていた。</p> <p>省エネルギーに寄与する機器の採用等の考え方及び想定される効果について、優れた提案がなされていた。</p> <p>省資源に関する低環境負荷材料（自然エネルギー）の使用の考え方（使用品目、量等）について、優れた提案がなされていた。</p> <p>特に、ささむすびグループ、ささにしきグループ、まなむすめグループの年間売電量が多くなっている点を高く評価した。</p>
(2) リスク管理		
ア想定されるリスクと対応策	①的確なリスク把握とその対応	<p>本事業に関して組織体制や施設面におけるリスクの認識と対応策について、優れた提案がなされていた。</p> <p>事故の防止と発生時対応、各種保険の活用（保険種目、契約者、被保険者、保険金額、適用範囲等の特記事項）について、優れた提案がなされていた。</p>
(3) 地域貢献		
ア地元企業への発注	①地元企業への発注	<p>設計・建設工事での各工事（機械設備工事、土木建築工事、解体・撤去及び仮設工事）における構成市町内企業（入札公告以降において設立された企業は認めない。）への発注金額、発注内容及び企業数等について、優れた提案がなされていた。</p> <p>運營業務での用役調達等（従業員の採用を除く。）における構成市町内企業への発注金額、発注内容及び企業数等について、優れた提案がなされていた。</p> <p>事業期間を通じた構成市町内の企業との協力、連携体制に対し、優れた提案がなされていた。</p> <p>特に、まなむすめグループの設計・建設工事及び運營業務の地元発注額（総額）が最も大きくなっている点を高く評価した。</p>
イ運營業務時における地元採用等	①地元採用	<p>構成市町内在住者に対する就労の考え方について、優れた提案がなされていた。</p> <p>構成市町内在住者の就労が確実に行われていることを組合が確認するための仕組みについて、優れた提案がなされていた。</p> <p>特に、ひとめぼれグループの運營業務における地元採用延べ人数が最も多くなっている点を高く評価した。</p>

表 8 非価格要素審査の講評 (2/4)

評価項目		応募者の提案内容に対する講評
ウ地域への貢献	①地域への貢献	<p>周辺住民との信頼関係の確立に対するコンセプトについて、優れた提案がなされていた。</p> <p>地域に開かれた施設として、地域住民が気軽に立ち寄ることができる全体配置計画上等の配慮やホームページでの公開情報の充実などについて、優れた提案がなされていた。</p> <p>住民の代表との定期的な意見交換の場である協議会等を通じた周辺住民との信頼関係確立に対する提案が少なかった。</p>
(4) 見学・学習機能		
ア見学・学習機能計画	①安全性・利便性に配慮した見学・学習機能の整備・運用	<p>炉室内の様子がわかりやすい、動いているものが見られる、実物が見られる等、展示内容や形態が具体的であり、迫力のある魅力的な見学ルートと見学内容について、優れた提案がなされていた。</p> <p>継続性、更新性に配慮した展示・学習のコンテンツについて、優れた提案がなされていた。</p> <p>見学者が自由に見学を行うことを考慮し、様々な見学者の利用に配慮したバリアフリー性能、安全性、利便性の高い見学ルートの仕様について、優れた提案がなされていた。</p> <p>緊急時の避難経路が分かりやすいなど、避難計画に優れた計画がなされていた。</p> <p>通常の見学ルートによる見学だけではなく、より環境学習を理解することができるイベント（親子環境学習など）や、安全性に配慮した炉室内部見学（バックヤードツアーなど）について、優れた提案がなされていた。</p> <p>特に、ささむすびグループ、ささにしきグループ、まなむすめグループの迫力のある魅力的な見学ルートと見学内容の提案がなされている点を高く評価した。</p>
2. 設計・建設に関する事項		
(1) 設計・建設全般に関する事項		
ア工事施工中の対応	①工程管理	<p>新工場棟建設工事の工期（平成 34 年 3 月末）及び旧工場棟解体・ごみ計量棟等建設工事の工期（平成 36 年 3 月末）をそれぞれ遵守するための優れた提案がなされていた。</p> <p>基本設計、実施設計、土木・建築工事、プラント設備工事、試運転、解体撤去及び仮設工事等の期間について、優れた提案がなされていた。</p>
	②安全対策・環境対策	<p>旧工場棟の稼働を継続しながらの新工場棟建設、さらには、新工場棟稼働時における旧工場棟の解体工事の実施において、直接搬入者等の安全確保が図られた、優れた施工計画の提案がなされていた。</p> <p>騒音、粉じん、振動等に関する対策、さらには解体工事におけるダイオキシン類ばく露防止等について、優れた提案がなされていた。</p>
(2) プラント設備に関する事項		
アプラントの信頼性	①プラントシステムの信頼性	<p>納入施設における過去のトラブルを踏まえた技術改善等の実績に基づき、プラントシステム（受入供給設備～雑設備）の安定性や耐久性の確保、さらには排ガス処理システムの高度化等について、優れた提案がなされていた。</p> <p>プラントの点検及び補修が容易であり、トラブル発生時においても迅速に復旧できるプラントシステム（受入供給設備～雑設備）について、優れた提案がなされていた。</p> <p>ごみ質及びごみ量の変動（非常時含む）に対する設備の適性（低負荷及び高負荷特性）を考慮した優れた提案がなされていた。</p>

表 8 非価格要素審査の講評 (3/4)

評価項目		応募者の提案内容に対する講評
アプラントの信頼性	②非常時の安全性	非常時においても、人身事故や機能障害を防止するための機能を有したプラントシステムについて、優れた提案がなされていた。 ヒューマンエラーによる一次災害、二次災害を防止する機能やシステムの構築に関して、実績に基づき優れた提案がなされていた。
イ機器配置計画	①機能性, メンテナンス性, 安全性に配慮した工場棟の配置・動線計画	機器の更新(中央制御室, 電気関係諸室の機器のリプレイス時など, 大規模修繕も考慮した更新)を考慮し, 機器等の搬入・搬出が容易にできる優れた提案がなされていた。 メンテナンスの空間(クレーン上部, 各炉間, 炉と建築隙間, 各機器周り, 各機器上部)が確保された優れた提案がなされていた。
(3) 土木・建築に関する事項		
ア全体配置計画	①安全性, 利便性に考慮した配置・動線計画	新工場棟建設工事及び旧工場棟解体・ごみ計量棟等建設工事に配慮し, 合理的かつ効率的な施設配置とともに安全性・利便性に優れた動線が確保された優れた提案がなされていた。 搬入出車両の計量待ちを考慮した待機スペースの設置やプラットホームにおける一時退避場所の確保など, 直接搬入者の安全性及び利便性を考慮するとともに, 出入口等での搬入車両の渋滞防止に配慮した優れた提案がなされていた。 施設内, 敷地内それぞれにおいて見学者, 職員等の安全な歩行動線を確保した利便性の高い優れた提案がなされていた。 水害対策として効果的な施設計画や各建物の適切な浸水対策等に優れた提案がなされていた。 積雪地帯であることを考慮し, 事業実施区域内の除雪作業, ロードヒーティング等, 積雪・凍結対策等を踏まえた優れた提案がなされていた。 特に, ささむすびグループ, ささにしきグループ, まなむすめグループについては, ごみの計量から施設内プラットホーム搬入・退出までの優れた提案がなされている点を高く評価した。
イ建築各種計画	①意匠・構造・仕上げ・外構・設備等各種計画	積雪・凍結等の地域特性を踏まえた意匠・構造・仕上げ・外構・設備等の各種計画について, 優れた提案がなされていた。 メンテナンスの容易性かつ耐久性に優れた屋根, 外壁, 内装等の仕上げについて, 優れた提案がなされていた。 プラント使用環境下にあることを踏まえたプラント設置室内の仕様の計画について, 優れた提案がなされていた。
ウ外観デザイン計画	①周辺環境や地元住民へ配慮した外観デザイン	建物デザイン, 材質, 色彩等を工夫し, 圧迫感がなく, 親しみやすくシンプルな優れた提案がなされていた。 新リサイクルセンターも含めた事業実施区域全体の協調性の確保, さらに北側・東側に近接する住民への影響緩和などから, 周辺地域との調和に配慮した優れた提案がなされていた。

表 8 非価格要素審査の講評 (4/4)

評価項目		応募者の提案内容に対する講評
3. 運営に関する事項		
(1) 運営全般		
ア運営期間終了後の計画	①運営期間終了後の計画	運営期間終了後にも配慮した効率的な維持管理（補修費，用役費，人件費）について，優れた提案がなされていた。 運営期間終了後の具体的な引継ぎ方法及び引継後のサポートについて，優れた提案がなされていた。 特に，ささむすびグループ，ささにしきグループについては，事業期間終了後の 10 年間における維持管理費の節減を高く評価した。
(2) 運転管理		
ア運転管理体制	①運転管理体制	同種施設の運転実績や資格を有する専門技術者の配置を考慮した運転管理体制について，優れた提案がなされていた。 人材育成方法について，優れた提案がなされていた。
イ受付・計量，搬入管理	①受付方法	直接ごみを搬入する一般者への分かりやすい誘導方法について，優れた提案がなされていた。 周辺交通に支障をきたさない効率的で円滑な受付業務の実施方法について，優れた提案がなされていた。
	②搬入管理	展開検査の頻度や方法について，優れた提案がなされていた。 特に，まなむすめグループは処理不適物の混入防止対策について，具体的な提案がなされている点を高く評価した。
ウ運転計画	①運転計画	安定性の担保された優れた運転計画（2 炉稼働日数，全炉停止期間等）について，優れた提案がなされていた。
エ緊急時対応	①緊急時の対応	災害時（水害，地震，火災，停電，故障，その他緊急事態で各々の事象毎別に）の管理体制，連絡体制，運転体制及び運転方法について，優れた提案がなされていた。 災害発生後に，復旧を最短とするための優れた提案がなされていた。
(3) 維持管理		
ア維持管理計画	①維持管理計画	本施設を 30 年間使用することを前提とした，20 年間にわたる効率的な維持管理について，優れた提案がなされていた。 事業の継続性を保つための維持管理計画（使用機器及び部材の耐用年数との整合性を含む）について，優れた提案がなされていた。
(4) 測定管理		
ア公害防止の対応	①測定項目・測定頻度，基準値超過時の対策	公害防止基準値を確実に遵守するための排ガス，振動，悪臭等の環境管理（測定項目，頻度，箇所等）について，優れた提案がなされていた。 排ガス中の有害物質の濃度が，要監視基準値，停止基準値を超えたときの対策等について，優れた提案がなされていた。
4. その他に関する事項		
(1) その他		
アその他	①自由提案	事業全体について，その他優れた提案がなされていた。

5 価格審査

価格審査結果は表 9 に示すとおりである。価格審査では、「落札者決定基準」に基づき、入札価格について得点化を行った。(配点 40 点)

表 9 価格審査結果一覧

項 目	ささむすび グループ	ひとめぼれ グループ	ささにしき グループ	まなむすめ グループ
入札価格	19,190,000,000円 (①：11,480,000,000円) (②：7,710,000,000円)	20,400,506,000円 (①：12,158,399,000円) (②：8,242,107,000円)	20,700,000,000円 (①：12,770,000,000円) (②：7,930,000,000円)	19,195,000,000円 (①：11,851,000,000円) (②：7,344,000,000円)
価格点 (配点40点)	40.00点	37.63点	37.08点	39.99点

注 1) 表中の①：設計・建設工事費，②：運營業務委託費を示す

注 2) 価格点 = 40 点 × (最低入札価格 / 入札価格)

得点は小数点第 3 桁を四捨五入して、小数点 2 桁まで算出する

注 3) 予定価格は次のとおり。なお、入札価格及び予定価格は、消費税及び地方消費税を含まない

予定価格 : 21,567,868,000 円

(①設計・建設工事費 : 13,050,466,000 円)

(②運營業務委託費 : 8,517,402,000 円)

注 4) 定量化限度額は、18,332,687,000 円 (消費税及び地方消費税を含まない)

6 総合評価点の算出及び優秀提案者の選定

「落札者決定基準」に従って表 10 に示すとおり応募者の総合評価点を求め、まなむすめグループ (代表企業：三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社東北支店) を優秀提案者として選定した。

表 10 総合評価点の算出結果

項 目	ささむすび グループ	ひとめぼれ グループ	ささにしき グループ	まなむすめ グループ
非価格要素点 (配点 60点)	40.88 点	36.37 点	40.86 点	41.11 点
価 格 点 (配点 40点)	40.00 点	37.63 点	37.08 点	39.99 点
総 合 評 価 点 (配点100点)	80.88 点	74.00 点	77.94 点	81.10 点

注) 総合評価点 = 非価格要素点 + 価格点

第6 総評

本事業への応募は4グループであった。いずれの提案内容も本事業の事業目的を理解し要求水準を上回るものであるとともに、技術・運営面において民間事業者の創意工夫やノウハウが盛り込まれた高いレベルでの提案であった。

事業者選定委員会は、厳正なる審査の結果、応募者 まなむすめグループ（代表企業：三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社東北支店）を西地区熱回収施設整備・運営事業において、組合の期待に総合的に応えることができる優秀提案者として選定した。

優秀提案者は、全体的に提案内容が現実的であり、組合が定める西地区熱回収施設の施設整備・運営の基本方針に沿った提案であった。特に、応募者の提案が、ひとつにはこれまでの建設・稼働実績をベースとして、高い信頼性に基づく安定稼働の確保、さらには高度な熱回収技術に基づくハイレベルなエネルギー回収等を実現するための効果的で具体的な内容であったこと、そして設計・建設工事から運営業務にいたるまで、新施設を地元とつながり、地域の将来を創りあげる拠点とする内容であったことを評価した。

今後、組合と「まなむすめグループ」が良好なパートナーシップを構築し、公共事業の一環として事業目的及び基本方針に沿った安心・安全で循環型社会形成に寄与したごみ処理施設を実現することを期待する。そのため、公共サービスの更なる向上に向けて、「まなむすめグループ」に対しては、次の点に留意することを望むものである。あわせて、組合としてもこれらの配慮事項を「まなむすめグループ」に明確に伝えるとともに、双方が誠実な協議を重ねることにより、本事業がより良いものになっていくことを切望する。

- ① 技術提案書の提案内容は、組合と協議・連携を図ったうえで誠意をもって確実に実施すること。
- ② 施設を稼働させながらの工事であり、安全対策には万全を期し、無事故・無災害の達成に努めること。特に、施設配置や車両動線については、施設稼働後のみならず工事施工中を含め、安全を第一に、最良の計画を立案すること。
- ③ 地元から好かれるよう、1市4町が誇れる施設づくりと維持管理を目指すこと。
- ④ 住民の代表との定期的な意見交換の場としての協議会を地域に提供して、積極的な意見交換を行うこと。
- ⑤ 環境教育の位置付けを重視し、特に子どもたちへの環境学習を実施すること。
- ⑥ 隣接する新リサイクルセンターとも連携を図りながら、搬入ごみを適切に処理すること。
- ⑦ 設計・建設中だけでなく、運営期間も含めて組合の財政負担の軽減につながる事業とすること。
- ⑧ 設計・建設及び運営のいずれにおいても、地域の活性化につながる地元への発注を確保するとともに、地元雇用を確実に進め、地元人材の育成に努めること。
- ⑨ 本事業のみならず地元全体の貢献につながるよう、運営面におけるチェック機構（ISOを含む）の導入を積極的に進めること。
- ⑩ 排ガス中のダイオキシン類や水銀除去対策など、環境対策には万全を尽くすこと。
- ⑪ 地域特性に配慮した災害対策を行い、施設運営が確実に継続できるよう計画すること。

平成31年2月

大崎地域広域行政事務組合 西地区熱回収施設整備・運営事業に係る事業者選定委員会

委員長 濱田 雅巳